

生活を守る人々の働き(働くとはどういうことか)

本時のねらい

電気の安定供給のため、電力会社の人々が常に努力していることを理解できる。
「何のために働くか」「働くことの意義とは」について自分の考えをもつことができる。

使用する図解

- 図解11 停電を防ぐための作業をしている人
- 図解12 ②カラスの巣を除去するために鉄塔にのぼる
- 図解13 自然災害復旧(大雪)の様子
- 図解14 水力発電を維持するためにダムに向かう人々
- 図解15 ①停電回数・停電時間の推移
- 図解16 中央給電指令所の設備と働く人々

指導過程

時間	児童・生徒の活動	教師の支援
7分 (7分)	<p>1 本時の課題をとらえる。</p> <p>(1) 写真の人たちが何をする場面かを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高い所で作業をしている ・雪の中を歩いている <p>(2) 本時の課題について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>電力会社で働く人の果たしている役割について考えよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 図解11・12-②・14の写真を見せながら、写真内の人たちの働きと、私たちの生活との関わりを考えさせたり、働く人たちの思いを想像させたりする。 ● 電気に関わる仕事をしていることは特に触れず、気付くことを言わせる。 ● 予想が出た所で図解11・12-②・13を見せ、課題を提示する。
20分 (27分)	<p>2 働く人の作業環境を調べる。</p> <p>(1) 働く人から気が付くことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電線に触れそうな所で作業している ・かなり高い場所に登っている ・天候が悪くても作業をしている ・かなり危険な場所で作業している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 先ほど見せた図解をグループごとに配付し、気が付くことを発表し合うように指示をする。 ● 作業している場所や状況、作業内容に注目するように声をかける。 ● 作業場所の高さを補足説明する。

時間	児童・生徒の活動	教師の支援
<p>15分 (42分)</p> <p>3分 (45分)</p>	<p>(2) 働く人はどのような思いで働いているのかを予想をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> • みんなを困らせたくない • 危険があるので怖い • 強い責任感をもって働いている <p>(3) 図解15-①から、働く人の努力を捉える。</p> <p>3 本時の課題について考える。</p> <p>(1) 電力会社で働く人が果たしている役割について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 私たちの便利な生活を守ってくれる • 命を守る働きをしている • 当たり前を当たり前にしてくれる • 見えない所で私たちをフォローしてくれている <p>(2) 今日の学習を通して学んだこと感じたことについて、ワークシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● どのような思いをもっているかグループで相談をする時間を設け、その後で発表をさせる。 ● 否定的な発言が出た場合でも、素直な声として受け入れる。 ● 資料をもとに説明する。別途、中部電力に職場見学や出前教室を依頼してもよい。 ● これまでの話を基に課題に対する自分の考えを書かせる。 ● なぜそのように考えたか、理由も踏まえて書くように指示をする。 ● 考えを広げられるように、図解16を見せながら、24時間体制で供給の推移を監視し、指令を出す仕事をする人についても紹介する。 ● 本時の課題を踏まえ、働くことについて振り返る時間とする。